

コピーしてすぐ使える 5分理科教科書プリント 4年

下記のページに誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。喜楽研

誤

正

P51 左 問題 ③

・水空気や水、金ぞくは、…… → ・空気や水、金ぞくは、……

P57 右 ① 解答

・金ぞくは、…… → ・金ぞくは、……
 順に（全体）の 順に（遠く）の
 ほうへとあたたまると。 ほうへとあたたまると。

P43 解答

※ 別のページの解答例が記載されています。

正しい解答例を以下に掲載致します。こちらをご利用ください。

季節と生物③ 秋

名

月

日

秋の生物のようす①

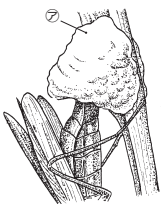
前

- 秋の生物のようすを観察して、夏のようなすくらべました。

- ① 秋のようすについて、（ ）にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

秋になると（気温）が下がり、虫などの活動が（にぶく）
 になっている。11月の中ごろになると、サクラは、葉の色が変わって
 （かれ）始めている。

活発に にぶく かれ しげり 気温



- ② 校庭で見つけたオオカマキリが、はらのところからあわのようなもの⑦を出していました。春にもみかけた、図の⑦は何とよびますか。

オオカマキリの（らのう）

- ③ ⑦の中には、何が入っていますか。

オオカマキリの（たまご）

- ④ ツバメの巣を観察していましたが、ツバメのすがたは見られませんでした。ツバメのすがたが見られなくなった理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

（ ）森や山に別の巣を作って動いた。

（ ）日本より北のほうへわたった。

（○）日本より南のほうへわたった。

【言葉】わたり鳥「夏鳥」「冬鳥」

ツバメのように、長いきりをい動し、季節によって過ごす場所を変える鳥をわたり鳥といいます。日本では、日本で夏を過ごすツバメのような鳥を夏鳥、日本で冬を過ごすハクチョウのような鳥を冬鳥とよびます。

季節と生物③ 秋

名

月

日

秋の生物のようす②

前

- 秋の動物のようすを観察しました。

- ① ヒキガエルのすがたをさがすと、夏とはちがう所にいました。どこにいたか、あてはまるほうに○をつけましょう。

（ ）高い木の上 （○）落ち葉の中

- ② 秋が深まり寒くなったころ、ナナホシテントウも植物の間にかくれていました。ナナホシテントウが植物の間にかくれていた理由で、あてはまるもの1つに○をつけましょう。

（ ）たまごをうんでいた。

（○）寒さをさけていた。

（ ）だっぴをしようとしていた。

- ③ 秋の虫などの動物のようすについて、（ ）にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

気温が下がると、虫などの動物は（たまご）をうんで死んだり、
 活動が（にぶく）なったり、（すむ）場所を変えたりする。

活発に にぶく たまご よう虫 すむ

【言葉】秋に鳴くこん虫

夏にセミの声が聞こえたように、秋にもこん虫の鳴き声が聞こえてきます。「コロコロコロ」と鳴くのはエンマコオロギです。鳴くのはオスだけで、羽をこすり合わせて鳴きます。メスには、たまごをうむための「くだ」があり、このくだを土の中にさしこんでたまごをうみます。春がくると、たまごからよう虫がえって成長し、夏のころに成虫になります。ほかに秋に鳴くこん虫をさがしてみよう。

